



阪本小より

令和元年 7月 第302号

中央区立阪本小学校

中央区日本橋兜町 15-3 坂本町公園内

TEL.03(3666)0044 FAX.03(3668)2366

宿泊行事の意義について

副校長 萩原忠幸

7月に入り、1学期もまとめの時期になりました。先月22日の学校公開には今年度第1回目ということもあり、多数の方にご来校いただきました。また、保護者の方には、引き取り訓練の御協力もいただき、まことにありがとうございました。

さて、本号においては、宿泊行事について少し触れたいと思います。阪本小学校では、4年生が6月に柏セカンドスクールに行きました。そして、これから5年生が臨海学校で館山に、10月には6年生が移動教室で本栖に向かいます。

宿泊行事は学校行事として学習指導要領にも位置付けられており、大きなねらいの一つに、よりよい人間関係を築くなどの集団生活の在り方や公衆道徳などについての体験を積むことがあります。

私も担任時代、多くの子どもたちを宿泊行事で引率しました。その経験から言えることは、子どもたちにとっては、2泊3日という短い期間ながらも大変有意義な体験を得ることができるということです。

その地で見聞を広め、自然や文化などに親しむことはもちろんですが、やはり一番は、親元を離れ、自分たちだけで一日の生活を送らなければいけないことだと思います。

時には、飯ごう炊さん等、皆で協力しながら自分たちの食を用意したり、時には、グループで励まし合いながら山登りを達成したり、時には、部屋での過ごし方や荷物の整理の仕方など周りに気を遣って我慢しなければならなかったり・・・、短い期間ながらも、子どもたち同士という集団生活の過程で得る人間関係能力や社会性などは非常に深いものであると言えます。

また、皆で大風呂に入る時は、湯船に浸かる前に掛け湯を浴び

ること、湯船から脱衣所に戻る時は、濡れた体をタオルでよく拭くこと、シーツを掛けるときは敷き布団の裏に折り込むこと、敷き布団は三つ折りにしてたたむことなどは、宿泊行事を通してこそ身に付く公衆のマナーだと思います。

子どもの様子を寝食共にして観ると、一人一人のことがよく分かります。普段、学校で観る様子と同じとうなずけること、あるいは、こんな一面があったのかと意外な驚きや喜びを感じるなどです。いずれにしても、観る尺度の柱は、自立する力であったり、他者と協調する力であったり、「知識・技能」といった学力と対をなす「生活力」になってきます。

4年生の声でもあったように、子どもたちはできなかったことができるようになり、気付かなかったことに気付くようになってきます。ただ、子どもの変容は、まだ確かなものではなく、2泊3日の宿泊では、そのきっかけをつかんだ程度で、定着しているとは言えません。

宿泊体験で培われる生活力は、将来社会を担う大人になる上での基盤となる力と考えます。私はよく、宿泊の終末で「子どもはこんなに成長し、ここで終わるのはもったいない」と常々感じていました。

宿泊行事を通しての変容を一過性のものにせず、より確かなものにしていくためにも、「自分ができるところをしっかりとやる。自分がやらなければならないことを確実にやる」など、宿泊後も学校と家庭とで更なる連携を図り、子どもへの支援・指導を行っていきたくと考えます。

※学校閉庁日のお知らせ

8月9日(金)、8月13日(火)～16日(金)は学校の業務を閉じさせていただきます。

日	曜	7月行事予定
1	月	委員会 良い歯の講話 中国児童交流会
2	火	音楽鑑賞教室(6年) 保護者会(1～3年)
3	水	研究授業(4年) 1～3年、5・6年5時間授業 4年6時間授業
4	木	学力向上を図るための調査(5年) 保護者会(4～6年)
5	金	安全指導 都邦楽研(4～6年)
6	土	土曜授業
7	日	
8	月	クラブ 避難訓練
9	火	
10	水	能楽(6年)
11	木	青空班活動・なかよし給食 第1回学校保健委員会
12	金	特別支援学級指導終わり
13	土	
14	日	
15	月	海の日
16	火	研究授業(5年) 1～4年、6年午前授業 5年5時間授業
17	水	食育(5年)
18	木	給食終
19	金	終業式 夕涼み会
20	土	夏季休業日始
21	日	
22	月	夏季水泳①
23	火	夏季水泳②
24	水	夏季水泳③ 館山事前検診(5年)
25	木	館山臨海学園始(5年)
26	金	
27	土	館山臨海学園終
28	日	
29	月	TBS 音楽コンクール
30	火	
31	水	

<教育相談日>毎週火・金曜にスクールカウンセラーが相談に応じます。